

防災会からのお知らせ

グリーンシティ防災井戸公園完成

地震等による大災害はいつ起こるかわかりません。

大災害時には、すべてのライフラインが停止する可能性があり、その中でも断水は生活に非常に大きな影響を与えます。その為、生活用水の確保が不可欠となります。このような緊急事態に備え、非常時の「水」を確保する為にグリーンシティでは防災井戸を設置しました。また、子どもたちに「水の大切さ」を知ってもらうための小さな公園も同時に制作しました。今では珍しくなった手押しポンプや心やすまるせせらぎも設置しました。

「生きるための水」とは、飲み水や食物に含まれている水分であり、最低一人一日1ℓ以上が必要とされています。

災害が発生した場合、飲料水は周辺自治体からの給水活動や救助物資及び一般小売店でのペットボトル販売などで確保はできます。しかし、最近の災害事例から問題は、大量に必要な「生活水」と思われます。被災住民として生活していくために最低限必要な「生活水」は、どんなに少なく見積もっても、一人一日20ℓは必要です。その中で最も必要とされるのが、トイレの水と言われます。人間生きていくために、入浴は我慢できますが、排泄行為を我慢する事は不可能であり、現在のトイレはほとんどが水洗でその洗浄水は1回に10ℓが必要なのです。少量の水で流すとすぐに排水管が詰まってしまうのです。最近ではライフラインに壊滅的な被害をおよぼした新潟県中越地震に於いても、井戸にはほとんど被害が無く、生活に必要な「水」の確保ができたという報告があります。

グリーンシティ防災井戸の水は地下30ℓから汲み上げていますが、現在の取水量では、絶対に地盤沈下を引き起こす心配はありません。また、飲料水適応検査も行っていますので、詳しい結果は後日報告しますが、かなり綺麗な水がわき上がっていますよ。

防災井戸及び防災井戸公園完成式典は7月15日(土)午前中を予定しています。

